

鶴岡市下水道ビジョン【概要版】

①策定の目的

人口減少の進展や社会情勢の変化など下水道事業を取り巻く様々な課題に対応し、将来にわたり良好な下水道サービスを提供し続けるため、今後10年間における下水道事業の方向性をとりまとめる。

②ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、国の計画やガイドラインの内容を踏まえ、諸計画に基づき、本市における下水道事業の基本理念や基本方針を設定するとともに、実施する施策を明確にし、下水道事業の方向性を示すものである。また、「鶴岡市SDGs未来都市計画」で掲げている開発目標のうち、達成可能な目標を踏まえ、下水道事業の方向性を定めていく。

<計画期間>

R4(2022)年度～R13(2031)年度

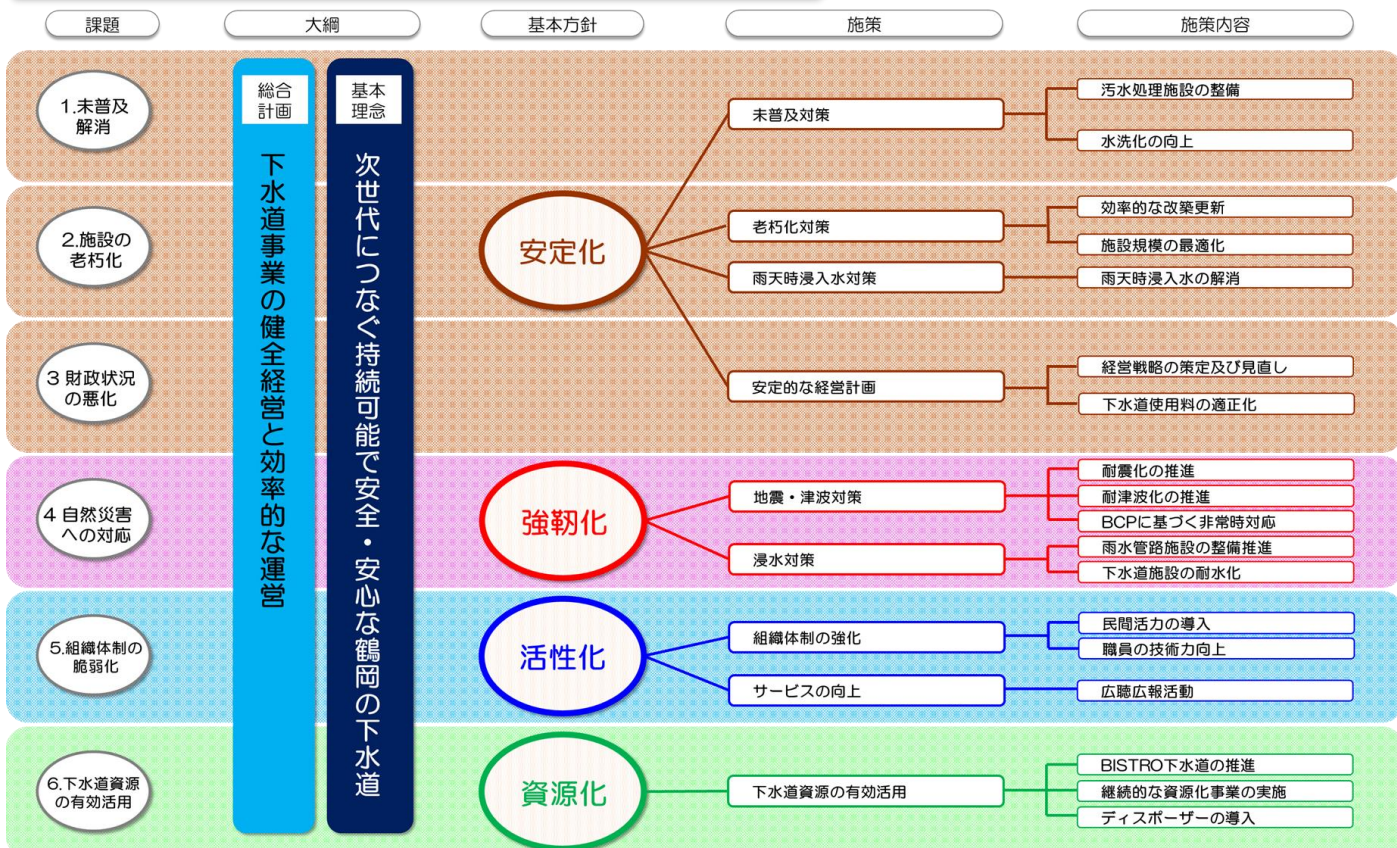


③基本理念

本ビジョンの基本理念は、第2次鶴岡市総合計画に掲げている「下水道事業の健全経営と効率的な運営」を踏まえ、下記のとおり定める。

<基本理念> 「次世代につなぐ持続可能で安全・安心な鶴岡の下水道」

④基本理念、基本方針及び課題に対する施策



⑤推進する実現方策

安定化

老朽化した下水道施設及び事業の適正化を図ることで健全な経営を持続します。

- ・未普及地域における整備を進め、令和10年度概成をめざします。
- ・下水道施設の計画的な点検や調査、修繕など適切な維持管理を実施します。
- ・必要性や時期等を総合的に判断しながら、計画的な下水道施設の再構築を実施します。
- ・事業のさらなる効率化に努めコストの縮減を図ります。
- ・鶴岡市下水道事業経営戦略及び下水道使用料の適正化を図り健全な経営を持続します。

強靱化

災害に強い下水道を構築することで安全で快適な暮らしを守ります。

- ・ハード対策とソフト対策を組み合わせた効率的・効果的な地震対策及び雨水対策を実施します。

活性化

官民連携をさらに強化するとともに、組織の活性化とサービスの向上を図ります。

- ・技術の継承と継続的な人材育成を実施します。
- ・官民連携手法の活用により民間企業との連携をさらに強化します。
- ・下水道サービスのさらなる向上に努めます。

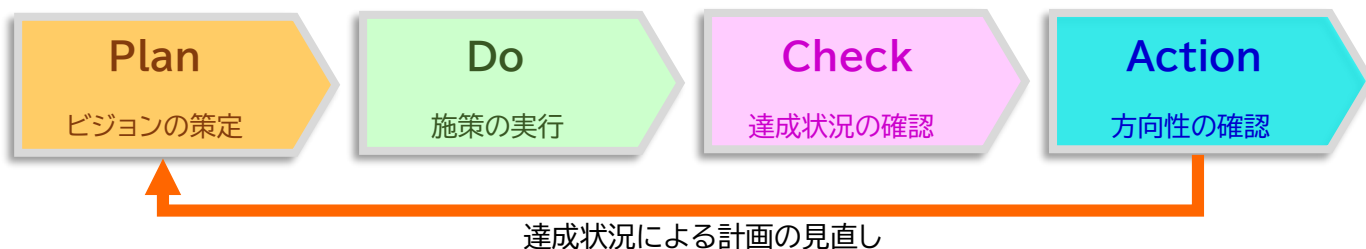
資源化

持続可能な循環型社会を構築します。

- ・BISTRO下水道のさらなる調査研究を進め事業化を促進します。
- ・省エネルギー設備の導入や下水道エネルギーの更なる有効利用を推進します。
- ・汚泥の有効利用を促進します。

⑥ビジョンの進捗管理

PDCAサイクルに基づく進捗管理を行うため、各施策について計画終了年度(R13末)における目標値を設定し、施策の実効性を毎年検証するとともに必要に応じてビジョンの見直しを図る。



主な目標値 (抜粋)

各施策に対する目標値として下記項目を合わせ計17項目を設定する。

主な施策	指標	単位	現況値(R2)	目標値(R13)
汚水処理施設の整備	下水道施設等普及率	%	93.6	98.1
耐震化の推進	管路施設の耐震化率	%	47.5	53.6
民間活力の導入	管路包括委託延長(R4開始)	km	0	1,156
下水道資源の有効活用	消化ガス売却量	Nm ³ /年	1,062,502	1,079,090